

原発性上皮性卵巣癌における DNA ミスマッチ修復異常の検討

1. 研究の対象

2012年1月より2018年12月までに、施設診断で卵巣上皮性悪性腫瘍である漿液性癌（低異型度・高異型度）、粘液性癌、類内膜癌、明細胞癌、悪性ブレンナー腫瘍、漿液粘液性癌と診断された症例。

2. 研究の目的

MMR機能異常を有する卵巣癌に対する有効な化学療法の適用による患者長期予後改善、およびMMR関連遺伝子情報に基づく将来的な化学療法の個別化を目的とする多施設共同臨床研究を計画しました。上皮性卵巣がんにおけるMMR機能異常の頻度および初回化学療法の有効性との関連性について検討を行います。

3. 研究の方法

- ① 参加施設は登録症例の番号化を行った後に、臨床情報記載票に病理組織型（施設診断）、年齢、FIGO進行期、化学療法の有無、投与薬剤、初回手術後評価可能病変を有する例ではRECIST基準による直接効果、無病生存期間（初回手術日から再発確認日あるいは最終受診日までの月数）および予後を記入し、研究事務局に提出します。
 - ② 原発性上皮性卵巣癌におけるMSI、MSI-HighおよびEMASTの頻度
 - ③ MSI、MSI-HighおよびEMASTの組織型別頻度
 - ④ MSI-HighおよびEMAST症例におけるMMR関連遺伝子蛋白発現
 - ⑤ MSI-HighおよびEMAST症例の病理組織学的特徴
- 以上を検討します。

4. プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で参加施設から提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

5. 当院に対するMSI結果の開示について

当院においては検査結果により、存命の患者さんについてはMSI-Highなどの所見が得られた場合は、その内容について説明を希望される場合は遺伝子相談外来等でのカウンセリングを検討することとしますので、担当医にご相談ください。

（遺伝子外来は自由診療となります。）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には
研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不
利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 婦人科 齋藤 俊章

住所 〒811-1395 福岡市南区野多目3-1-1

TEL：092-541-3231（代表） / FAX：092-551-4585

研究代表者：

東北医科薬科大学産婦人科 教授 渡部 洋

住所 〒983-8536 宮城県仙台市宮城野区福室1-15-1

TEL：022-259-1221 / 3FAX：022-290-8959